

| イントロダクション

■ セイコー独自の「ソリューションカンパニー」を目指して

ものづくりの歴史と ブランド力

1881年の創業以来、当社グループは「モノ」に携わることを生業にしてきました。
ものづくりへのこだわりとその歴史は、いま、セイコーのブランドを支える大きな力となっています。



日本発のブランドとして、当社グループでは
日本の美意識や日本文化を巧みに取り込んだ製品やサービスを
数多く生み出し、グローバルに展開しています。

144年

当社創業(1881年)以来

※ 2025年時点





1

秒

10,000,000

セイコーソリューションズ(株)が
提供する時刻同期の精度

0.0005g

セイコーウォッチ(株)の機械式時計に使われる、
最も軽いねじの重さ



唯一無二の 幅広い技術基盤

時計の修理・製造から始まった当社グループでは、伝統的な匠の技から最新技術、
例えばMEMSや生成AIといった技術までを使いこなしています。

幅広い技術を理解する当社グループだからこそ、生み出せる価値があります。



多角的な 製品・サービスの提供

当社グループではその事業の幅の広さから、ウォッチやデバイスをはじめとする「ハード」から、IT技術やおもてなしなどの「ソフト」まで取り扱っています。

「ハード」と「ソフト」を自在に融合して様々な製品やサービスを生み出し、お客さまや社会の課題を解決します。





セイコーらしさの結集で、 世界中の人・モノ・時を つなぐ製品・サービスを創造

CONTENTS

イントロダクション

- 1 セイコー独自の「ソリューションカンパニー」を目指して
- 10 140年以上にわたる価値創造のあゆみ
- 12 事業概況
- 14 パーパス・企業理念・サステナビリティ方針・グループ10年ビジョン

トップメッセージ

- 16 CEOメッセージ
- 22 社長メッセージ

価値創造ストーリー

- 28 価値創造の源泉
～セイコーならではのこだわりとは～
- 34 価値創造モデル
～独自の価値創造の積み重ねにより
セイコーの企業価値を拡大～
- 36 第8次中期経営計画「SMILE145」
～計画概要と進捗、2026年に向けて～

ドメイン別成長戦略

- 38 エモーショナルバリューソリューション(EVS)ドメイン
- 46 デバイスソリューション(DS)ドメイン
- 50 システムソリューション(SS)ドメイン

編集方針

2022年度からスタートした第8次中期経営計画「SMILE145」の4年目にあたる2025年の統合報告書では、「SMILE145」3年目の成果と課題、そしてそれらを踏まえた今後の方針について、セイコーグループの「強み」とともに、ステークホルダーの皆さまにわかりやすくお伝えすることを目指しました。

また、セイコーらしい「ソリューションカンパニー」への変革に向けた挑戦とその歩みについては、グループ社員の声も交えながらご紹介しています。本報告書が当社グループの持続的な価値創造に対する理解を深めていただく一助となり、皆さまとの建設的な対話のきっかけとなりましたら幸いです。

報告対象範囲

セイコーグループ株式会社および子会社、関連会社を含めたセイコーグループ

対象期間

2024年4月1日～2025年3月31日
(一部に2025年4月以降の活動内容等を含みます。)

参照ガイドライン

IFRS財団「国際統合報告フレームワーク」
経済産業省「価値協創のための統合的開示・対話ガイドランス」
TCFD「気候関連財務情報開示タスクフォース最終報告書」



将来見通しに係る注意事項

本報告書に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

本報告書に掲載しきれない財務情報やコーポレートガバナンス情報については、当社ウェブサイトをご覧ください。



当社ウェブサイト
<https://www.seiko.co.jp>

財務戦略

- 54 財務分析
- 58 CFOメッセージ

5つのグループコア戦略

- 60 サステナビリティ戦略
- 70 人材戦略
- 76 DX戦略
- 78 R&D戦略
- 80 ブランディング戦略

コーポレートガバナンス

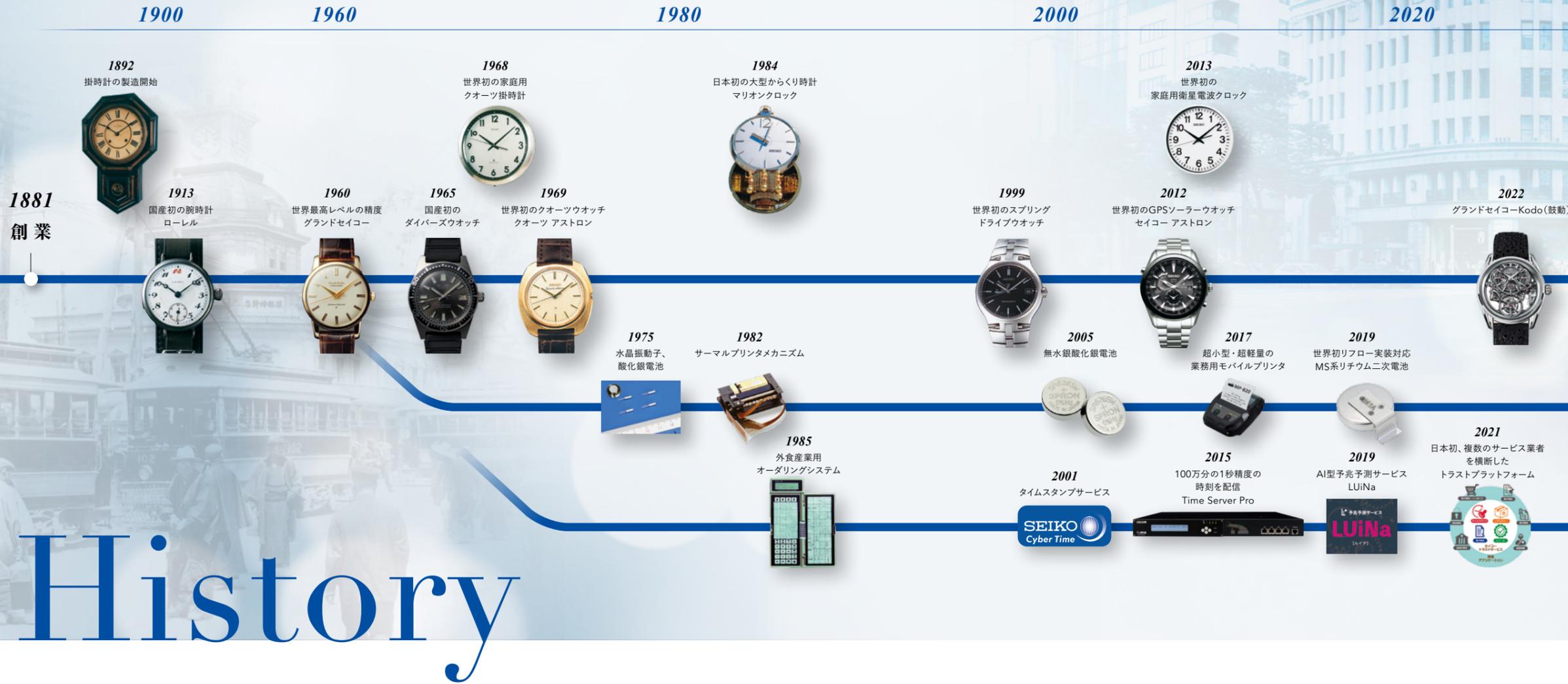
- 82 社外取締役メッセージ
- 84 役員紹介
- 86 コーポレートガバナンス
- 92 リスクマネジメント
- 94 企業倫理・コンプライアンス
- 95 株主・投資家との対話

データセクション

- 96 財務ハイライト
- 97 非財務ハイライト
- 98 財務データ
- 100 非財務データ
- 102 会社概要/株式の状況

140年以上にわたる価値創造のあゆみ

セイコーグループは、140年以上の歴史の中で、社会課題の解決に貢献するというDNAを脈々と受け継ぎ、その時々求められる製品・サービスを提供してきました。「ソリューションカンパニー」になるという原点に回帰し、変化する事業環境に対応することで、世界中の人々が笑顔でより良い人生を歩むために貢献していきます。



History

歴史の中で積み重ねた価値創造の源泉

信頼の積み重ねで築き上げた、世界で唯一無二のセイコーブランド

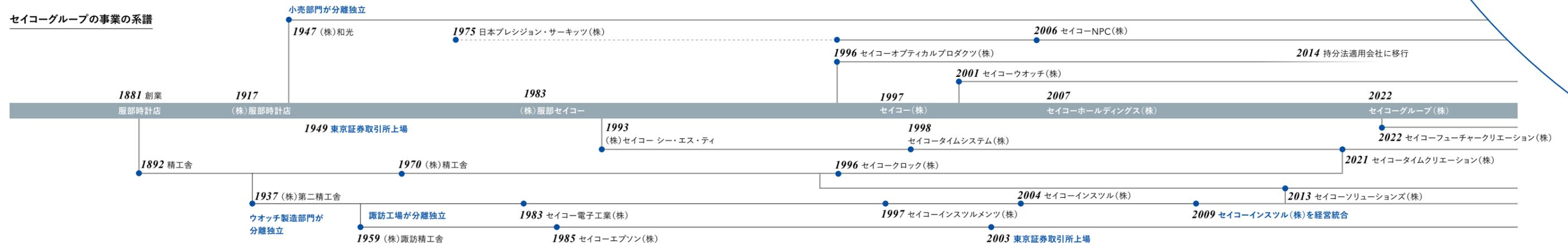
P.28

時計製造で培われた「匠・小・省」の精神によるイノベーション

P.30

徹底したお客さま視点での提案力

P.32



事業概況

連結業績
(2024年度)

売上高 **3,047** 億円 営業利益 **212** 億円

創業から築いてきた信頼の絆を大切にしながら、時代を牽引してきた技術力と、次代を切り拓いていく感性とチャレンジ精神で、お客さまと社会に様々な価値を提供しています。

事業内容

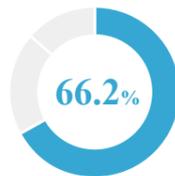
主な商品・製品・サービス

特徴的データ

エモーショナルバリューソリューション (EVS) ドメイン



売上高構成比*



機能的価値・感性的価値・社会的価値の高い製品・サービスを創出するとともに、優れた顧客体験を提供するドメイン。ウオッチ事業は、部品製造から組立、調整まで一貫して手掛ける世界でも数少ない「マニファクチュール」として、グランドセイコーをはじめとするグローバルブランドを中心に世界中へ展開、およびクロックの企画・販売も行う。さらに銀座を代表する高級専門店・和光では、日本のラグジュアリーブランドとして、ウオッチ・ジュエリー・ハンドバッグなど、質の高い商品・サービスを提供。

ウオッチ

- ウオッチ完成品
- ウオッチムーブメント
- クロック完成品

和光

- ウオッチ
- クロック
- 宝飾品
- 紳士・婦人用品
- ハンドバッグ
- 室内用品
- 食品
- ほか

ウオッチ事業「グローバルブランド」の売上割合
(2024年度)

国内 約**75%**
海外 約**70%**

※ ウオッチ完成品の売上高に占めるグローバルブランド(グランドセイコー(GS)、キングセイコー、セイコー プロスペックス、セイコー アストロン、セイコー プレザージュ、セイコー 5スポーツ)の占める割合

主な事業会社

セイコーウオッチ(株)
<https://www.seikowatches.com/jp-ja/>

(株)和光
<https://www.wako.co.jp/>

デバイスソリューション (DS) ドメイン



売上高構成比*



時計製造や開発から生まれた精密かつ確かな技術で、社会が求める高性能で高品質な製品を提供するドメイン。高性能、高信頼性の小型電池、低消費電力が特長の水晶振動子や水晶発振器用IC、サブミクロン単位の精度を誇る精密加工部品、そして産業用インクジェットヘッド、サーマルプリンターなどの製造・販売を行い、モビリティ、メディカル、インダストリーなどの幅広い分野で高度化する社会と産業をサポート。

電子デバイス

- マイクロ電池/チップキャパシタ
- 水晶振動子
- 高機能金属製品
- 希土類磁石

精密デバイス

- HDD用部品
- 自動車用部品
- その他精密切削部品

プリンティングデバイス

- インクジェットヘッド
- サーマルプリンター

その他

- 水晶発振器用IC
- センサー用IC

シェアNo.1製品
(2025年7月時点)

- 水晶発振器用IC
- 組込式サーマルプリンター
- モバイルプリンター
(国内数量でシェアNo.1)
- 医療向け酸化銀電池
- 半導体製造装置向けバルブ用メタルダイヤフラム

主な事業会社

セイコーインスツル(株)
<https://www.sii.co.jp/jp/>

セイコーNPC(株)
<https://www.npc.co.jp/>

システムソリューション (SS) ドメイン



売上高構成比*



社会のイノベーションを実現するICTソリューションをワンストップで提供するドメイン。セイコーソリューションズグループ事業は、セイコーの強みを発揮する二つのビジネスモデルである①「ハードウェア&ソフトウェアを融合したIoT・AIソリューション」と②企業のDX化を実現する「DXプラットフォーム」を軸に、ハードウェアからソフトウェアの開発や生成AIを活用したサービスなど、多角的なソリューションを提供。セイコータイムクリエーション事業では、公共施設や競技場向け設備時計やサイネージ、スポーツ計時計測機器・サービスを取り扱う。

ハードウェア&ソフトウェアソリューション

- IoT基盤・IoT/AIソリューション
- 機器・組込モジュール

DXプラットフォームソリューション

- CX/EX・デジタルトラスト・性能管理
- セキュリティ・システム/アプリケーション
- ネットワーク

ファシリティソリューション

- 設備時計・デジタルサイネージ
- 大型表示盤・スポーツ計時計測機器

37 四半期連続の対前年同四半期比での増収増益を実現
(2025年度第1四半期時点) ※ セイコーソリューションズグループ事業

ドメインの限界利益に占めるストックビジネスの割合

約**75%**
(2024年度実績)

* 外部顧客への売上高をもとに算出



| パーパス・企業理念・サステナビリティ方針・グループ10年ビジョン

SEIKO GROUP PURPOSE

革新へのあくなき挑戦で、
人々と社会に信頼と感動をもたらし、
世界中が笑顔であふれる
未来を創ります。



企業理念

社会に信頼される会社であること

サステナビリティ方針

セイコーグループは、
グループパーパスを原点に、“WITH”

W :well-being よりよい人生を	I :inclusion すべての人に
T :trust 確かな信頼で	H :harmony 地球との調和

を実現する事業活動に取り組み、
グループのたゆみない成長とともに
持続可能な社会発展に貢献します。

グループ10年ビジョン

アナログとデジタルのシナジーにより世界中の
人・モノ・時をつなぐ製品・サービスを創造し、
サステイナブルな社会に貢献するソリューションを提供する

